

令和六年度 前期日程
国語
入学者選抜学力検査問題

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子の問題は十一ページ、解答用紙は一枚からなっている。
- 6 この冊子のうちに落丁・乱丁、印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 この問題の内容に関する質問には答えない。
- 8 この問題の満点は百点である。文学部日本・中国文化学科は四百点に、文学部国際文化交流学科・歴史学科・公共政策学部および農学食科学部和食文化科学科Aは二百点に換算する。
- 9 字数制限のある解答では、句読点や括弧なども字数に含める。
- 10 試験時間中の退出は認めない。
- 11 問題冊子は持ち帰ること。

一

次の文章をよく読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合で文章の一部を省略し、表記を改めたところがある。(40点)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(渡辺一夫「本を読みながら」、『狂気について』所収、岩波文庫、一九九三年)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(管啓次郎『本は読めないものだから心配するな』による)

(注) ○ニーチエ……フリードリヒ・ニーチエ。ドイツの哲学者(一八四四～一九〇〇)。○大江健三郎……作家(一九三五～二〇二三)。東京大学在学中に芥川賞を受賞し、現代文学の旗手として多方面で活躍した。一九九四年ノーベル文学賞。
○渡辺一夫……フランス文学者・評論家(一九〇一～一九七五)。東京大学等で教鞭をとった。○ヴァルター・ベンヤミン……ドイツの文芸評論家・哲学者(一八九二～一九四〇)。○レヴィ・ストロース……クロード・レヴィ・ストロース。フランスの社会人類学者(一九〇八～二〇〇九)。○レミング……ネズミ科の哺乳類。数年ごとに大繁殖し、群れで大移動を行うことで知られる。

問一 傍線部①②③④⑤⑥⑦⑧について、カタカナは楷書の漢字に改め、漢字はそのよみをひらがなで記せ。

問二 傍線部ア「きわめて偏狭な、読書の実用論者」とあるが、これはどのような人のことを言っているのか。本文中の表現を用いて二五字程度で説明せよ。

問三 傍線部イ「ただ霧の森をさまよい、おなじ樹木に何度も出会いながらひどいときにはそうと気づきもせずに通り過ぎ、おなじ草を何度も踏んではかたわらに生えるおなじキノコにほんやり目をとめるだけ」とあるが、これはどのようなことをたどっているのか。本文中から三〇字以内で抜き出せ。

問四 傍線部 ウ 「ぼくは考えを変えることにした」とあるが、これは考えがどのようなものからどのようなものになったと言っているのか。本文中の表現を用いてわかりやすく説明せよ。

問五 傍線部 エ 「本は読めないものだから心配するな」について、筆者はなぜこのように言うのか。一五〇字程度でわかりやすく説明せよ。

二

次の文章は、少将の君（男君）が、落窪の君（女君）のもとに初めて忍び入った場面である。この前段階で、落窪の君は少将の君からの手紙に返事をしていない。これをよく読んで、後の問いに答えよ。（30点）

（著作権の関係で不掲載）

（『落窪物語』による）

（注）○死ぬべき心地……落窪の君は、自らの境遇を恥じている。 ○あこぎ……あこぎは落窪の君の忠実な侍女であるが、あこ

ぎが少将の君を手引きしたと、落窪の君は誤解している。

問一 傍線部ア、才を、文脈を考えながら、現代語訳せよ。

問二 二重傍線部 A ～ E の「給ふ」のうち、活用の種類の異なるものを一つ選び、その記号と活用の種類を記せ。

問三 傍線部 I 「人数にはあらねど」とは、誰の、誰に対する、どのような趣旨の発言か。具体的に説明せよ。

問四 傍線部 II の和歌について、

- (1) 和歌の中の掛詞を指摘せよ。
- (2) 「鳥にたぐへ」るものを明確にして、全体を現代語訳せよ。

問五 『落窪物語』と同じ平安時代に成立したのではない作品を、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 古今著聞集
- ② 狭衣物語
- ③ 今昔物語集
- ④ 大鏡
- ⑤ 浜松中納言物語

次の文章をよく読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合で送りがなを省略したところがある。(30点)

乾隆中、大吏有_レ不_レ悦_二其_一属員者、上_レ詢_レ之、以_レ書生_一对_フ。上_レ曰、是_レ胡_一害_二。朕亦一書生也。大吏悚_レ服。嗚呼、大_レ哉_二斯_一言、是其_レ炳_二六_一籍、訓_二万_一祀矣。嘉慶二十二年春、吾_レ杭_一夏進士_一之京師、將_レ銓_二県_一令、紆_レ道_一別_二余_一海上。相_レ与_レ語、益_レ進_二。醉_レ然_一愉、謾_レ然_一清、論_二三_一千年史事、意見或_レ合_二或_一否、輒_レ哈_レ然_一以_レ歎。予曰、是_レ書生_一、非_レ俗吏_一。海上之人、以及_レ郷_一之人、皆曰_レ非_レ俗吏_一。之_レ京師、京師_一貴人長者_一、識_レ予_一者、皆識_レ進士_一、亦必曰_レ非_レ俗吏_一也。雖_レ然_一、固_レ微_レ窺_レ君_一、君若_レ懼_レ人之_レ訾_レ其_一書生_一者、又若_レ有_レ所_レ諱_レ夫_一書生_一者、暴_レ於_レ声音笑貌_一焉。天下_一事、舍_レ書生_一無_レ可_レ属_レ、真_レ書生_一又寡_一、有_レ一_レ於_レ是_一、而_レ懼_レ人之_レ訾_レ己_一而_レ諱_レ之_一耶。且_レ如_レ君_一者、雖_レ百人_一訾_レ之_一、万人_一訾_レ之_一、嚙_レ指_レ而_レ自_レ誓_レ不_レ為_レ書生_一、以_レ喙_レ自_レ衛_レ、噉_レ噉_レ然_一力_レ弁_レ其_一非_レ書生_一、其_レ終_レ能_レ肖_レ俗吏_一之所_レ為_レ也哉。為_レ之_レ而不_レ肖_一、愈_レ見_レ其_一拙、迴_レ護_レ其_一拙、勢_レ必_レ書生_一与_レ俗吏_一兩_レ無_レ所_レ拋_レ而_レ後_レ已_一。噫、以_レ書生_一之_レ声音笑貌_一加_レ之_レ以_レ拙_一、濟_レ之_レ以_レ迴_レ護_一、終_レ之_レ以_レ失_レ所_一

抛。果爾、則進士之為政也病矣。新婦三日、知其所自育。新官三日、知其所与。予識進士十年、既慶其祿之及於吾里、而有光、而又恐其信道之不篤、行且一前而一却也。於其行、恭述聖訓、以附古者朋友贈行之義。

(龔自珍「送夏進士序」による)

(注) ○乾隆中……乾隆年間(一七三六—一七九五)。○大吏……高官。○屬員……下級役人。○上……乾隆帝。○悚服……怖れしたがう。○六籍……六經。儒家の經典。○万祀……万年。○嘉慶二十二年……一八一七年。○吾杭夏進士……「杭」は杭州府。現在の浙江省にある。作者の龔自珍も杭州の出身。「夏」は人名。「進士」は科挙に合格した者。○海上……上海。○粹然……顔色につやのあるさま。○謾然……高くぬきんでるさま。○怡然……たのしむさま。○舍……すておく。○曉曉然……おそれるさま。○迴護……弁護する。

問一 波線部 ① ⑤ の読みを、現代仮名遣いにより、送りがなも含めてすべてひらがなで記せ。

問二 傍線部 A を現代語訳せよ。

問三 傍線部 B を現代語訳せよ。

問四 傍線部 C を現代仮名遣いにより、すべてひらがなで書き下し文にせよ。

問五 傍線部 D の「爾」が指す内容を簡潔に記せ。

問六 傍線部 E はどういうことを言っているのか。わかりやすく説明せよ。